



# Nintex<sup>®</sup> Forms

---

## Nintex Forms 2013 インストール ガイド

---

**NINTEX**<sup>®</sup> Workflow for Everyone

[support@nintex.com](mailto:support@nintex.com)

[www.nintex.com](http://www.nintex.com)

# 目次

1. Nintex Forms 2013のインストール .....	4
1.1 インストーラーの実行.....	4
1.2 ソリューション パッケージの展開.....	4
1.3 Nintex Forms 2013 下位互換性機能のインストール (オプション) .....	5
1.4 ライセンスのインポート.....	5
2. データベース構成.....	5
2.1 データベースの構成.....	5
3. [Web アプリケーションのアクティブ化].....	6
3.1 Web アプリケーションでの Nintex Forms のアクティブ化.....	6
4. Nintex Live.....	6
4.1 Nintex Live への接続.....	6
4.2 Nintex Live Forms の構成.....	7
4.3 Mobile アクセス用 Nintex Live リレーサービス.....	7
4.4 Nintex Live リレーサービス ユーザー再割当 (任意).....	7
5. 機能のアクティブ化.....	8
5.1 サイト コレクションのアクティブ化.....	8
付録 A .....	9
Nintex Liveリレーサービス - マルチサーバーファームへの Nintex Live のインストー ル .....	9
付録 B .....	12
Nintex Live 向けファイアウォール構成.....	12
Nintex Live 向けプロキシ サーバー構成 (任意).....	12

# システム必要条件

---

## オペレーティング システム

Nintex Forms 2013はMicrosoft Windows Server 2008 R2またはWindows Server 2012にインストールする必要があります。

## ブラウザ クライアント

Microsoft Internet Explorer 8.x (ただし Microsoft Internet Explorer 9 または 10を推奨)。

## ソフトウェア

Nintex Forms 2013 では、次のソフトウェアがインストールされ、正しく構成されている必要があります。

- SQL Server 2008 R2 SP1またはSQL Server 2012
- Nintex Workflow 2013 v3.0.1 以降 (Nintex Forms を Nintex Workflow 2013 と併用の場合)
- Microsoft SharePoint Foundation 2013またはMicrosoft SharePoint Server 2013

Nintex Live にフォームを発行する場合の外部または匿名ユーザーに関するインターネットサイト (FIS) 向け SharePoint Server 2013 の詳細については、ライセンス情報をご覧ください。

# 1. Nintex Forms 2013のインストール

## 1.1 インストーラーの実行

1. ソリューションおよび機能を展開するのに十分な特権を持つ SharePoint 管理者としてサーバーにログインします。 インストーラー ファイル (exe) をダブルクリックして [Next] (次へ) をクリックします。
2. 使用許諾契約書に目を通します。 インストールを続けるには、 [I Agree] (同意します) を選択する必要があります。 [Next] (次へ) をクリックします。
3. Nintex Live をインストールするかどうかを選択します。 これにより Nintex Live Framework と、Nintex Live への接続に必要な証明書がインストールされます。

注: Nintex Live の使用方法については<http://www.nintex.com/licensing> のNintex ライセンス情報をご覧ください。 また、Nintex Live の構成方法についての詳細はセクション 4.0をお読みください。

4. SharePoint に今すぐソリューションを追加するか (推奨)、後で SharePoint PowerShell を使用してインストールするか (詳細設定) を選択します。 [Next] (次へ) をクリックします。

注: Nintex Forms 2013 は、 Program Files ディレクトリ内にフォルダを作成しません。 ソリューションのエクスポートを選択すると、手動で展開する様々なソリューションファイルを利用することになります。

5. 手順4でソリューションを追加することを選択した場合は、インストール ステータスメッセージが表示されます。 少し経つと [Installation Complete] (インストール完了) 画面が表示されます。 [Close] (閉じる) ボタンをクリックします。 SharePoint Central Administration がバックグラウンドで読み込まれているはずですが。

注: Nintex Live と Nintex Forms をマルチサーバー ファームにインストールしている場合、インストール処理中に「RPC サーバーを使用できません」というエラーメッセージが表示される場合があります。 トラブルシューティングについては、付録 A を参照してください。

## 1.2 ソリューション パッケージの展開

1. [ファーム管理] セクションの [ファーム ソリューションの管理] をクリックします。 「nintexforms2013.wsp」というソリューションが表示されます。
2. 「nintexforms2013.wsp」リンクをクリックし、ツール バーの [ソリューションの展開] リンクをクリックします。
3. [展開先] セクションで [すべてのコンテンツ Web アプリケーション] が選択されていることを確認し、 [OK] をクリックします。
4. 少し経つと [ソリューション管理] ページに戻ります。 この時点で Nintex Forms 2013 (「nintexforms2013.wsp」) が [展開済み] として表示されているはずですが。

### 1.3 Nintex Forms 2013 下位互換性機能のインストール (オプション)

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [システム設定] をクリックします。
2. [ファーム管理] セクションの [ファーム ソリューションの管理] をクリックします。 「nintexforms2013backwardscompatibility.wsp」というソリューションが表示されます。
3. 「nintexforms2013backwardscompatibilityui.wsp」リンクをクリックし、ツール バーの [ソリューションの展開] リンクをクリックします。
4. [展開先] セクションで [すべてのコンテンツ Web アプリケーション] が選択されていることを確認し、  
[OK] をクリックします。
5. 少し経つと [ソリューション管理] ページに戻ります。この時点で「Nintexforms2013backwardscompatibilityui.wsp」が [展開済み] として表示されているはずで

### 1.4 ライセンスのインポート

本製品の全機能をご使用になりたい場合は、Nintex 発行の Nintex Forms 2013 ライセンスファイルが必要です。このライセンスは、完全版製品ライセンスでも評価版ライセンスでも結構です。ライセンスファイルは SharePoint の [サーバーの全体管理] にインポートする必要があります。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Forms の管理] を選択します。 [ライセンス] をクリックします。
2. Nintex [ライセンス] ページの [インポート] ボタンをクリックします。
3. [参照] ボタンをクリックしてライセンスファイルを見つけます。ファイルが見つかったら [インポート] ボタンをクリックします。
4. [ライセンス] 情報が表示されます。 [OK] をクリックします。

これで Nintex Forms 2013 のデータベース構成に進むことができます。

## 2. データベース構成

---

### 2.1 データベースの構成

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Forms の管理] を選択します。 [データベースの管理] をクリックします。このステップにより、Nintex Forms の構成とアプリケーション設定を保存するデータベースが作成されます。
2. 必要に応じて設定を編集するか、[OK] をクリックして既定の設定をそのまま使用します。

## 3. [Web アプリケーションのアクティブ化]

---

### 3.1 Web アプリケーションでの Nintex Forms のアクティブ化

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [アプリケーション構成の管理] をクリックします。
2. [Web アプリケーション] セクションの [Web アプリケーションの管理] をクリックします。
3. Nintex Forms 2013 の機能をアクティブ化する Web アプリケーションを選択します。  
(例 : SharePoint - 80)
4. [Web アプリケーション] リボン上にある [機能の管理] ボタンをクリックします。
5. [Nintex Forms] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
6. 少し待つとページが更新され、ステータスが [アクティブ] になります。 [OK] をクリックします。

## 4. Nintex Live

---

Nintex Live Forms 機能を使用すると、サードパーティの認証プロバイダによる匿名または安全なアクセスにより、フォーム デザイナが指定したフォームを Nintex Live を通じてインターネット上のユーザーが使用できるようになります。

*注意 : Nintex Live フレームワークと Nintex Live への接続を有効化するための証明書をインストールする必要があります。上記セクション 1.1 の手順 5 で「Nintex Live のインストール」を行わなかった場合は、「nintexlivecore.wsp」を手動でインストール・展開し、[証明書] フォルダから全ての証明書をインポートしてください。「nintexlivecore.wsp」と「証明書」フォルダは、Nintex Forms 2013 インストール フォルダに含まれています。*

**重要 :** SharePoint の [サーバーの全体管理] をホストしないコンピュータに Nintex Forms 2013 をインストールした場合、Nintex Live の使用には以下の追加ステップが必要となります。SharePoint の [サーバーの全体管理] をホストするサーバーにログオンし、SharePoint PowerShell コマンド プロンプトを開いて次のコマンドを実行してください :

```
install-liveservice
```

これにより Nintex Live の構成の準備が整います。

### 4.1 Nintex Live への接続

Nintex Live フレームワークは、Nintex Live との通信にインターネット接続を必要とします。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Live 管理] を選択します。 [正常性チェック] をクリックします。
2. Nintex Liveへの接続が確立されると、ステータス欄に [成功] というメッセージが表示されます。

注意: お使いのネットワークでインターネット接続にプロキシサーバーが必要な場合は、[プロキシサーバー] セクションにサーバーの詳細情報を入力してください。これらの設定は Nintex Live フレームワークに特定のものであり、インターネット接続が許可される唯一のアプリケーションとなります。

## 4.2 Nintex Live Forms の構成

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Forms の管理] を選択します。 [Live Forms 設定] をクリックします。
2. [Nintex Live Forms を有効にする] のセクションで、[有効化] ボタンをクリックします。
3. インターネット上の匿名ユーザーによる Live Forms 送信を許可する場合は、[匿名フォーム送信を許可する] セクションの [はい] を選択します。警告ダイアログで [OK] をクリックします。

警告: 匿名のフォーム送信を許可するには、Microsoft サーバーのインターネット ライセンスが必要になることがあります。

## 4.3 Mobile アクセス用 Nintex Live リレーサービス

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [アプリケーション構成の管理] をクリックします。 [サーバーのサービスの管理] をクリックします。
2. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「開始」リンクをクリックします。
3. [Nintex Forms 管理]、[Live Mobileアクセス管理] の順にクリックします。
4. [有効にする] をクリックして、ファームをMobileアクセス用 Nintex Live に登録します。

注: お使いのSharePoint サーバーがファイアウォール保護下にあるか、ネットワークにプロキシサーバー設定がある場合は、[付録 B](#) を参照してください。

## 4.4 Nintex Live リレーサービス ユーザー再割当 (任意)

Nintex Live バージョン3.0.3.1以降では、Nintex Live リレーサービスを実行する管理ユーザーアカウントを変更することができます。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [セキュリティ] をクリックします。 [サービスアカウントの構成] をクリックします。
2. 最初のドロップダウンメニューで [Windowsサービス-Nintex Live リレーサービス] を選択します。

3. [このコンポーネントのアカウントを選択] ドロップダウンメニューにあるユーザーを適宜選択し、[OK] をクリックします。

注：このサービスを実行する管理ユーザーは、Nintex Forms と Nintex Workflow データベースへのアクセス権限と、Nintex Live サービスが使用することのある SharePoint リストと Web アプリケーションへのアクセス権限があるのを確認してください。また、管理ユーザーはファームのファーム管理グループに所属していなければなりません。

## 5. 機能のアクティブ化

---

### 5.1 サイト コレクションのアクティブ化

1. サイト コレクションで Nintex Forms 2013 の機能をアクティブ化するには、トップサイト レベルのホームページに移動し、右上隅の [設定] アイコン、 をクリックします。 [サイト設定] を選択します。
2. [サイト コレクションの管理] で [サイト コレクションの機能] をクリックします。
3. [Nintex Forms 必須機能] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
4. 少し待つとページが更新され、ステータスが [アクティブ] になります。
5. SharePoint リスト フォームのデザインに Nintex Forms 2013 を使用する場合は、[SharePoint List Forms 向けNintex Forms] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
6. フォーム デザイナが Nintex Live にフォームを発行できるようにするには、[Nintex Live Forms] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
7. このサイト コレクション内のサイトにある Nintex Workflow 2013 で、Nintex Forms 2013 を使用して開始フォームやタスク フォームをデザインするには、[Nintex Workflow向け Nintex Forms] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。

注意： 必須ソフトウェアが検出されない場合はエラー メッセージが表示されます。 全てのソフトウェア要件がインストール・構成済みであることを確認してください。

これで Nintex Forms 2013 を使用する準備ができました。

## 付録 A

---

### Nintex Liveリレーサービス - マルチサーバーファームへの Nintex Live のインストール

Nintex Forms 2013 ソリューションと Nintex Live コアソリューションを SharePoint からインストールした場合、ファーム内のすべてのサーバーにリモートで Nintex Liveリレーサービスをインストールできない場合があります。これはマルチサーバーファームにインストールを行った場合に生じることがあります。

ファイアウォールまたはセキュリティ上の制約の関係でファーム内のサーバーが使用できない場合、「RPCサーバーを使用できません」というエラーメッセージが表示されることがあります。これが原因で1つ以上の Nintex SharePoint ソリューションを展開できず、Nintex Live リレーサービスをアップグレード、またはインストールできなくなることがあります。

それぞれのサーバーに手動でサービスと SharePoint ソリューションをインストールまたはアップグレードする場合は、次のプロセスに従ってください。

#### 必要条件:

- スクリプトを実行するユーザーは、SharePoint および Windows に対する適切な権限が必要です。
- ユーザーは SharePoint サーバーの全体管理にアクセスできる必要があります。
- SharePoint 管理シェルでスクリプトを実行します。
- 適切な Nintex インストール実行可能ファイルを使用して、Nintex Live コアソリューションをインストールしておく必要があります。

#### この手順によって行われること:

- Nintex Live リレーサービスがインストール済みで開始されていた場合は、停止して、再起動されます。
- 必要に応じて、現在のサーバーに Nintex Live リレーサービスをインストールしようとします。
- Nintex Forms、Nintex Workflow または Nintex Live ソリューションを SharePoint に展開します。
- すべてのサーバーで IISReset を実行します。
- Nintex Live サービスをインストールします。

#### PowerShell スクリプトを実行するには:

1. サーバーごとに、Nintex Live リレーサービスが存在し、開始済みである場合は停止します。
  - a. [サーバーの全体管理] に移動します。
  - b. [システム設定] のセクションで、[サーバーのサービスの管理] をクリックします。
  - c. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「停止」リンクをクリックします。

注: サービスの一覧に Nintex Live リレーサービスが見つからない場合は、Windows 管理ツールに移動して、「サービス」をクリックします。"Windows サービス (Nintex Live リレーサービス)" が存在していることを再確認し、開始された場合は停止します。

2. IISReset を実行し、各サーバーで「SharePoint Timer Service」を再起動します。

3. 初回展開時にエラーが発生したソリューションがあれば、Nintex ソリューションを再展開します。
4. 初回展開で Nintex Forms ソリューションの展開に失敗したら、[サーバーの全体管理] で SharePoint 管理シェルを開いて次のスクリプトを実行します。

注: または *Windows PowerShell* でこのスクリプトを実行することもできます。その場合は、次の行をスクリプトに追加する必要があります。

```
Add-PSSnapin 'Microsoft.SharePoint.PowerShell'
```

```
Upgrade-NFService
```

5. 初回展開で Nintex Live ソリューションの展開に失敗したら、[サーバーの全体管理] で SharePoint 管理シェルを開いて次のスクリプトを実行します。

注: または *Windows PowerShell* でこのスクリプトを実行することもできます。その場合は、次の行をスクリプトに追加する必要があります。

```
Add-PSSnapin 'Microsoft.SharePoint.PowerShell'
```

```
Install-LiveService
```

6. Windows サービスが存在しない場合は、サーバーごとに SharePoint 管理シェルを開いて次のスクリプトを実行します。

注: または *Windows PowerShell* でこのスクリプトを実行することもできます。その場合は、次の行をスクリプトに追加する必要があります。

```
Add-PSSnapin 'Microsoft.SharePoint.PowerShell'
```

```
$path =  
[Microsoft.SharePoint.Utilities.SPUtility]::GetVersionedGenericSetupPath("bin\NintexLive\Nintex.Live.RelayService.exe",15)  
$serviceName = "Nintex Live Relay Service"  
New-Service -Name $serviceName -BinaryPathName $path
```

7. 手順 1 でサービスが停止した場合は、サーバーの全体管理からサービスを再開する必要があります。
  - a. [アプリケーション管理]、[サーバーのサービスの管理] の順にクリックします。
  - b. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「開始」リンクをクリックします。

注: 「Nintex Live リレーサービス」が長時間「開始中」ステータスで、「開始」リンクも「停止」リンクも表示されない場合は、次の手順を実行します。

8. [監視]、[ジョブ定義の確認] の順にクリックします。
9. [[SERVERNAME]での Nintex Live リレーサービスのプロビジョニング] のジョブをクリックします。
10. PowerShell で次のスクリプトを実行します。

```
#Uninstall and InstallSharePoint Service
```

```
Add-Type -AssemblyName "Nintex.Live.SharePoint, Version=1.0.0.0, Culture=neutral,  
PublicKeyToken=c52d764dcf7ec883" -ErrorAction:SilentlyContinue | out-null
```

```
[Nintex.Live.SharePoint.WindowsServices.NintexLiveRelayInstaller]::UnInstallInstance  
("SERVERNAMEHERE ")
```

```
[Nintex.Live.SharePoint.WindowsServices.NintexLiveRelayInstaller]::InstallInstance("  
SERVERNAMEHERE ")
```

11. 続いて、9 ページの上記手順 7 を再度実行します。

## 付録 B

---

### Nintex Live 向けファイアウォール構成

Nintex Liveにより Nintex Mobile の統合機能を利用しており、ファイアウォールを設定している場合、Nintex Live リレーサービスでは以下のポートのアクセスが可能でなければなりません。

- 9351/HTTP
- 80/HTTP
- 443/HTTP

### Nintex Live 向けプロキシ サーバー構成（任意）

お使いの環境でプロキシ サーバーを使用している場合、Nintex Live リレーサービスは以下のエンドポイントと通信します。従って、お使いのプロキシ ソフトウェアに以下のURLを追加し、使用可能にしておく必要が起きる場合があります。

<https://live.nintex.com> および <https://liveservices.nintex.com>

<https://nintexlive.blob.core.windows.net/serviceicon>

<https://nintexrelay.servicebus.windows.net/>